

荷送人の通知 [記載例]

運送人殿						年 月 日
		荷送人 住所 氏名 (連絡先 電話)				
名称・成分	硫酸	含量	98%	数量	1,200 kg	
措	漏えい時	漏えいした場所の周辺には、ロープを張るなどして人の立入りを禁止する。 作業の際には必ず保護具を着用する。 (少量) 漏えいした液は土砂等に吸着させて取り除くか、又はある程度水で 徐々に希釈した後、消石灰、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて 洗い流す。 (多量) 漏えいした液は土砂等でその流れを止め、これに吸着させるか、又は 安全な場所に導いて、遠くから徐々に注水してある程度希釈した後、 消石灰、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。 この場合、濃厚な排液が河川等に排出されないよう注意する。				
	出火時	(周辺火災の場合) 速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、 容器及び周囲に散水して冷却する。 (着火した場合) _____ (消火剤) _____				
置	暴露・接触時	人体に 対する 影響	(皮膚に触れた場合) 激しいやけど(薬傷)を起こす。 (眼に入った場合) 粘膜を激しく刺激し、失明することがある。			
		救急方法	(眼や皮膚に付着した場合) 直ちに付着又は接触部を、多量の水で15 分間以上洗い流す。汚染された衣服や靴は速やかに脱がせる。 速やかに医師の手当てを受ける。			
	注意事項	(1) 可燃物、有機物と接触させない。 (2) 水と急激に接触すると多量の熱を発生し、酸が飛散することがある。 (3) 水で薄めて生じた希硫酸は、各種の金属を腐食して水素ガスを発生し、こ れが空気と混合して引火爆発することがある。 (4) 直接中和剤を散布すると発熱し、酸が飛散することがある。				
	保護具	保護手袋(ゴム)、保護長ぐつ(ゴム)、保護衣(ゴム)、保護眼鏡				
	事故の際の 連絡先	消防署、警察署、保健所に通報し、荷送人の指示を受けること。				